

I. 広東省

1 中国国際航空航天博覧会が閉幕

●11日、第12回中国国際航空航天博覧会が閉幕した。博覧会には、43の国と地域の770社が参加・出展した。開催期間中、569を超えるプロジェクトの契約が調印され、成約額は約212億米ドルに上った（12日付「南方日報」1面）。

2 中国工程科技発展戦略広東研究院が設立

●14日、中国工程院と広東省政府が共同で設立する中国工程科学技術発展戦略広東研究院の調印式が深センで開催された。李希・広東省書記、李曉紅・中国工程院院長、馬興瑞・広東省長、周濟・中国工程院主席団名誉主席らが調印式に立ち会った。中国工程科学技術発展戦略広東研究院は、公益性があり、諮問機関としての性格を有する学術機構（15日付「南方日報」1面）。

3 広東省党代表団一行が雲南省を訪問

●15日～16日、李希・広東省党書記、馬興瑞・広東省長率いる党・政府代表団一行が雲南省を訪問した。一行は西部貧困対策の支援活動として、雲南省党・政府との間で、怒江リス族自治州と昭通市の貧困扶助活動に関し協議した。また、一行は貧困地域を訪れ、村民の収入、子女教育、僻地の貧困状況等について詳細に把握し、貧困家庭を慰問した。記陳豪・雲南省党書記と阮成發・雲南省長も関連する活動に参加した（17日付「南方日報」1面）。

※怒江リス族自治州は雲南省北西部に位置し、西はミャンマーとの国境を接する。2017年の一人当たりのGDPは25,940元。

※昭通市は雲南省北東部に位置し、四川省、貴州省と接する。2017年の一人当たりのGDPは15,119元。

4 1月～10月までの電力消費量は前年同期比6.14%増

●南方電網広東電網公司によれば、広東省の電力消費量は前年同期比で6.14%増の5,317.5億キロワットだった（17日付「南方日報」3面）。

II. 広州市

1 自動運転タクシーの試験運用を中止

●1日、広州市公共交通グループが運営する自動運転タクシーの試験運用が、番禺区交通局からの通告で中止となった。道路環境や法規が万全でないことが

理由である。これにより、広州公共交通グループは、試験運用を広州国際生物島に場所を移した。試乗体験には電話予約が必要。月曜日から金曜日の14時～16時に約10分～15分間試乗できる（12日付「南方都市報」AⅡ2面）。

2 温国輝・広州市長率いる広州市代表団が香港を訪問

●14日～15日、温国輝・広州市長率いる市・政府代表団一行が香港を訪問した。キャリー・ラム香港行政長官を表敬訪問後、香港政府関係機関を訪問し、広東・香港・マカオビッグベイエリア建設の推進協議を行った。また、香港の企業関係者を訪問し、企業がビッグベイエリア建設にどのように関与していくか等について意見を聞き取り調査した（16日付「広州日報」1面）。

3 第16回広州モーターショーが開幕

●16日、第16回広州モーターショーが開幕した。会場には世界各地の企業の計1,085台の自動車が展示される。25日まで開催される（17日付「広州日報」4面）。

4 2019年2月から広州—タンザニア間の直行便が就航予定

●2019年2月から、広州—タンザニア間の直行便が就航する。週3便運航する。2017年の中国からタンザニアへの中国人旅行者数は約37,000人だった（18日付「広州日報」3面）。

Ⅲ. 深セン市

1 今年7月～9月の深セン市の環境に関する違法案件は534件

●深セン市政府人居环境委員会によれば、今年7月～9月の深セン市の環境に関する違法案件は534件に上り、罰金総額は6,127万元だった。そのうち、100万元以上の罰金刑を受けた企業は5社あった（15日付「深セン特区報」14面）。

Ⅳ. 福建省

1 福建省の1月～10月までの貿易総額が1兆元を突破

●アモイ税関の統計によれば、1月～10月までの福建省の貿易総額は1兆293.1億元となり、前年同期比8.4%増だった。そのうち、輸出が6,272.4億元（同比7.2%増）、輸入が4,020.7億元（同比10.2%増）だった（14日付「福建日報」1面）。

V. 広西チワン族自治区

1 巴特爾・全国政協副主席が広西チワン族自治区を視察

●11日～13日、巴特爾・全国政協副主席が広西チワン族自治区を訪れ、自治区成立60周年祝賀イベントの準備活動と貧困対策の取組み等を視察した。鹿心社・自治区書記と陳武・自治区主席も関連する活動に参加した（14日付「広西日報」1面）。

VI. 海南省

特になし。

(了)